

# GUGEN2022

## ご説明資料



## GUGEN（グゲン）=考える、作る、かたちにする

GUGEN(ぐげん)の主題は、「ユーザーの問題を解決し、『未来のふつう』と成るであろう製品やサービスを、具現(GUGEN)化すること」です。新たなサービスや事業を産み出していくための『電子電機ものづくり』をテーマとし、実用性・商品性の高いハードウェアの募集と支援を行なっております。

## よりよい未来をみんなで考え、みんなで作り上げる

「誰のためのものづくりか」作り手の人たちは、家族や身近な友人といった顔が見える相手がどう喜ぶか、どう日々の生活が変化するかを想像することが大切です。その想像したアイデアの具現化を私たちは全力でサポートいたします。アイデアのブラッシュアップやプロトタイプづくりを応援する様々な取り組みをこれからも行ってまいります。



## GUGEN2015 優秀賞 Pyrenee Drive

ピレネードライブスクリーン  
Pyrenee Drive Screen  
すべてのクルマに運転支援システムを



ダッシュボードに設置できる車載デバイス。事故の危険が迫った場合にディスプレイ表示と音で危険を知らせる。近年、自動運転などの技術が注目されているが、すべての車に搭載するにはまだ時間がかかる。現状ではドライバーひとりひとりの注意が交通安全に最も効果的と言える。Pyrenee Driveは既存のクルマに搭載できるため、運転をするすべての人のサポートを行うことができる。

## GUGEN2016 優秀賞 OTON GLASS



ディスレクシア（読字障がい者）や弱視者を対象とした、「読む行為」をサポートするスマートグラス。視線と同位置にあるカメラで読みたい文字を撮影し、文字認識によって読み上げた音声を聞くことで、耳から文字を読むことができる。通常の眼鏡と変わらない装着感を持つウェアラブルなデバイスなので、弱視者でも長時間の読書を負担なく行うことができる。

## GUGEN2017 大賞 人生100年時代に必要な歯磨きシステム



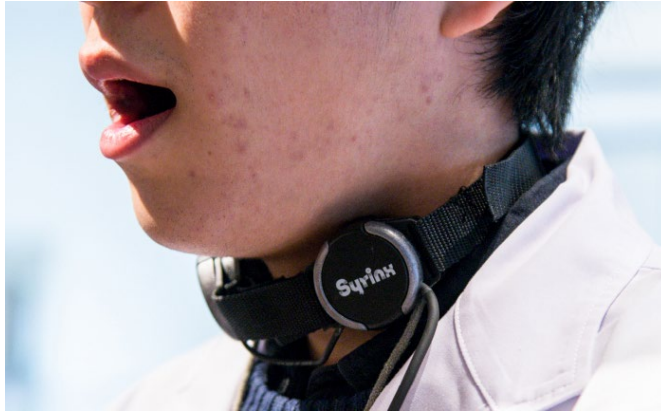
歯磨きを効率化できるスマート電動歯ブラシ。先端にカメラを搭載し、映像をスマートフォンで確認しながら、歯を磨くことができる。さらに紫外線を当てることで、歯垢を可視化。汚れているところを重点的に磨ける。現在の歯磨きは人生50年時代にできた設計であり、人生100年時代に向けた新しい方法を現代の技術で提案するというコンセプトが評価された。

## GUGEN2019 大賞 Planter



マンションやアパートなどでも導入できる小型発電機。バルコニーに設置し、風力発電でスマートフォンなどのモバイルバッテリーに蓄電ができる。一般の家庭でも発電/消費の実感ができるインターフェースになっており、すべての人が再生可能エネルギーを身近に感じることができる。デザイン性優れている点と、エネルギー問題について人々に考えるきっかけを与える点が評価された。

## GUGEN2020 大賞 Syrinx



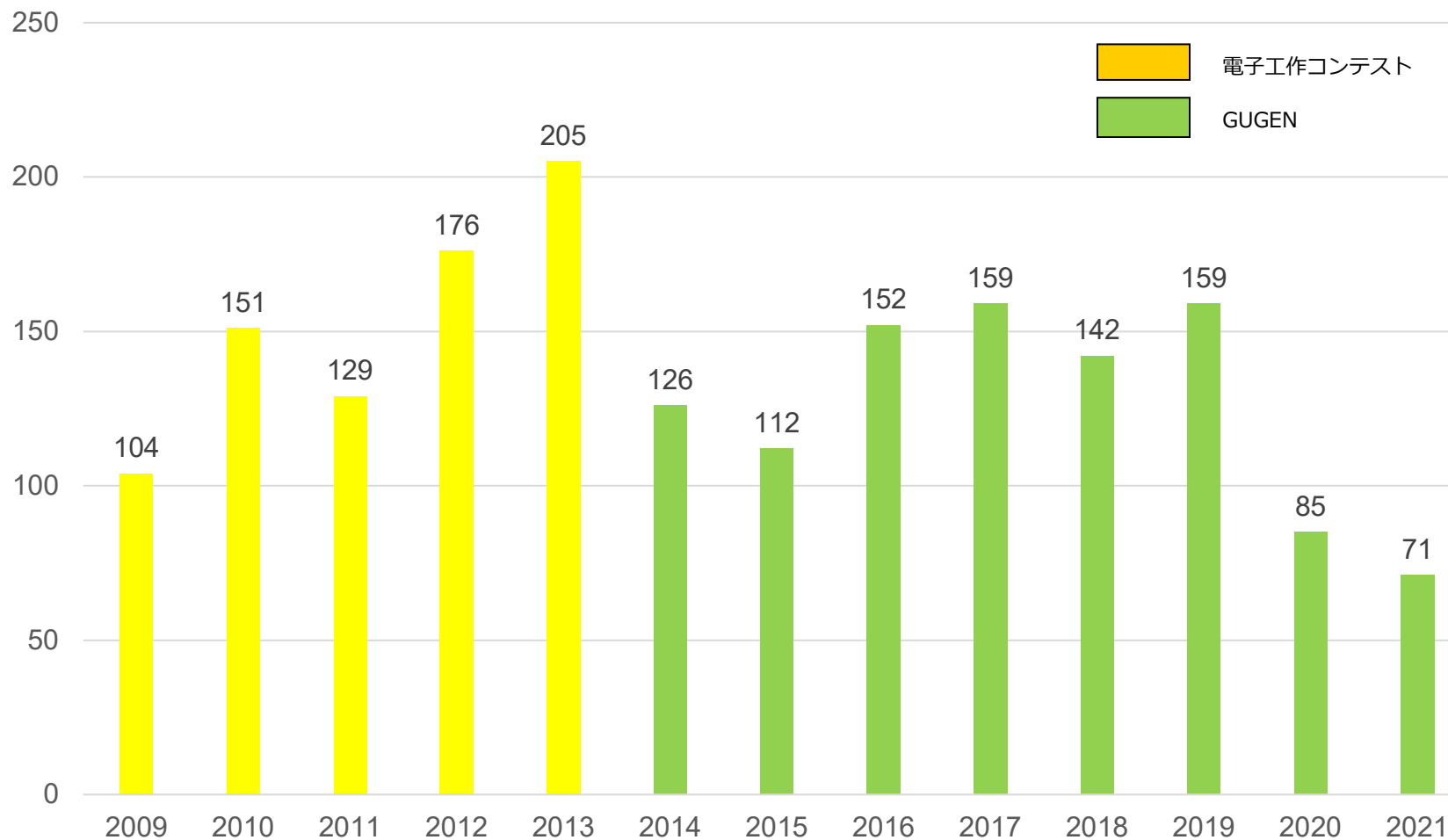
喉頭がんなどの病気により声帯を摘出して声を失った方が、口パクをするだけでヒトに近い発声を可能にするウェアラブルデバイスです。  
声帯摘出をして声を失った方々のコミュニティである銀鈴会の方々からフィードバックをいただきながら、開発を進めています。

## GUGEN2021 大賞 ICOMA タタメルバイク



持ち運びと変形が可能な原付一種規格の小型電動バイクで、折り畳んでデスクの下などに収納できる点が特徴。  
バイクという乗り物において駐車場が無いという課題を収納できることで解決した。

# 過去のGUGEN応募者



**累計 1,700作品がGUGEN Webサイトにアーカイブされています。**

**GUGEN2021**  
**選考会・授賞式結果**



開催日	2021年12月11日（土）
会場	コモレ四ツ谷+オンライン配信
参加費	無料（zoomでライブで配信） 68名申し込み（57名視聴）
応募作品数	71作品（前年85作品）
一次通過作品数	23作品（前年16作品）
当日プレゼン作品	22作品（前年13作品）
スポンサー数	12社





# 当日プレゼンテーション作品



No. 011	<a href="#">農業用AIロボット by 輝翠Tech</a>
No. 015	<a href="#">微生物蛍光ライト～ウィズコロナに必要な高い接触感染対策を支援～ by HA-PPY</a>
No. 037	<a href="#">ICOMA タタメルバイク by 株式会社ICOMA</a>
No. 040	<a href="#">自律移動ロボット : Mighty-D3 by Piezo Sonic</a>
No. 044	<a href="#">Venty-テレワークのための換気促進デバイス by Ventyを制作</a>
No. 047	<a href="#">Loglee by Team Loglee</a>

### ICOMA タタメルバイク by 株式会社ICOMA



持ち運びと変形が可能な原付一種規格の小型電動バイクで、折り畳んでデスクの下などに収納できる点が特徴。

バイクという乗り物において駐車場が無いという課題を収納できることで解決した。

車のトランクに積んで運べることや、災害時にも活躍できるなど、多くの課題を解決できる可能性を秘めた作品。製品化するにあたり、安全性など様々なハードルがあるかと思うが、ぜひ乗り越えて製品化してほしい。

## 農業用AIロボット by 輝翠Tech



SLAM技術で自己位置の推定が可能で、収穫場と収集場を自動で往復運搬でき、りんご農園内を回り、害虫やりんごの樹勢などをカメラで認識し、農園全体の把握を支援する。

## 微生物蛍光ライト～ウィズコロナに必要な高い接触感染対策を支援～ by HA-PPY



内視鏡に内蔵されたがんを見つけやすくする蛍光イメージング技術を内視鏡の外でも使える方法を確認し、懐中電灯のような機器として、ユーザーは光を当てるだけで、手指やドアノブ、ノートパソコンなど日常で接触する場所の衛生状態が可視化する。



**Junichi Fujioka**

**藤岡淳一氏 JENESIS株式会社及びJENESIS深セン法人 創業代表**

今年度は世の中に必要とされる技術がガラッと変わった。それにも関わらず、短期間で様々な世代の方がアイデアを形にして応募してくれたことに敬意を表す。今回のように世の中に大きな変化が起きても、テクノロジーの力で小さなことから大きなことまでチャレンジして行って欲しい。



**Seitaro Yamazaki**

**山崎晴太郎氏 株式会社セイトロウデザイン代表**

「今後は作るだけでは終わらせず、作った物で社会をどう変えていくか、デザインしていくかを突き詰める必要があると思っている。作り手の内側の欲望と社会へのインパクトがきれいに結びついた時に次のステップへスケールするアイデア、プロダクトになる。生活の中で課題や欲求を乗り越えていくアイデアが今後増えていけば良いと思う。



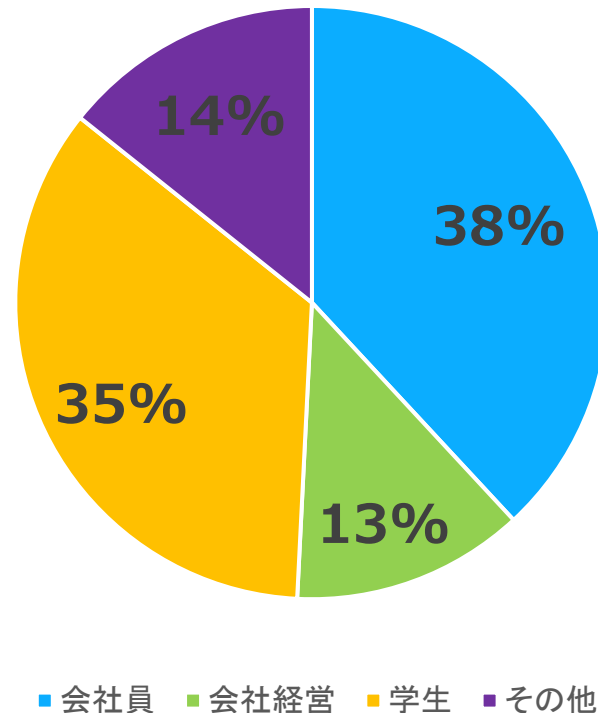
**Tomihisa Kamada**

**鎌田富久氏 TomyK代表/株式会社ACCESS共同創業者**

オンラインでのイベントが増えている中、実際に動く物が見みることができ、非常に楽しませてもらった。特に大賞ノミネート作品 13 チームの作品はコロナ対策のソリューションだけでなくニューノーマルの生活の課題を解決する作品 や既存の社会課題を解決する作品も多く見られた。これから新しい価値を創造していく若い人たちの力を感じることができた。

## 応募作品・応募者分析①

【学生／社会人】



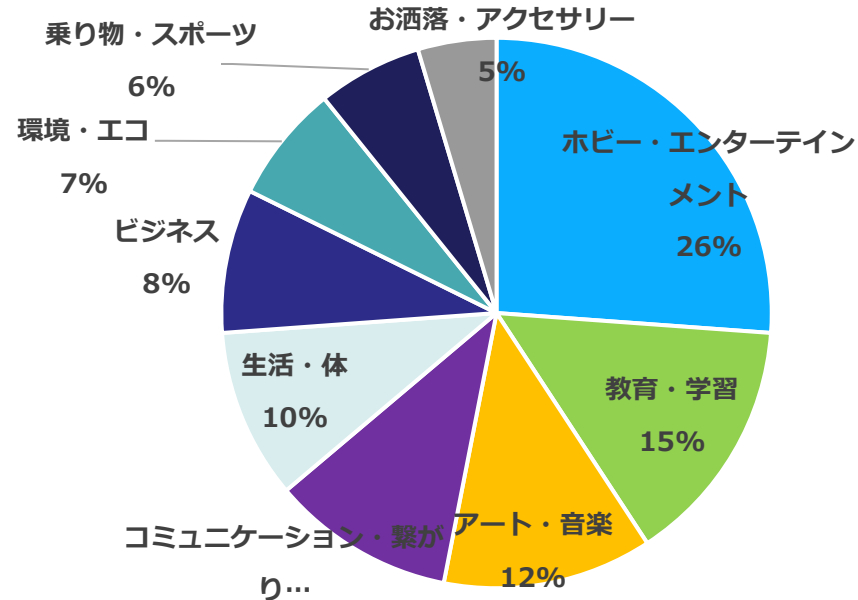
社会人の割合増加（会社経営の割合増加）。学生の参加数は若干微増。大学がオンラインから通常の授業へ戻りつつある。ノミネート作品に関しては学生が採用されている割合がなくなってきている。学校側が積極的にGUGENへ参加を誘導していることに起因している。今後も産学連携の取り組みとして積極的に強化していく必要あり。

## ■学生

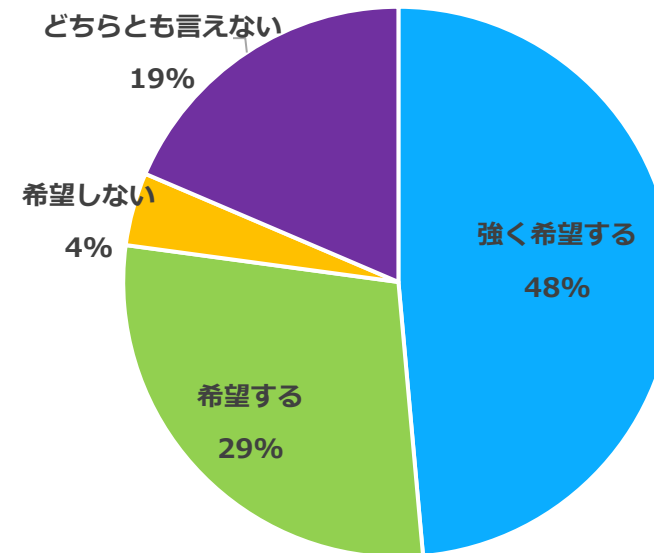
東京大学、京都大学、岡山大学、大阪工業大学、首都大学東京、東京都立大学院、東海職業能力開発大学校、法政大学、電気通信大学、筑波大学、京都産業大学、東北学院大学 など

## 応募作品・応募者分析②

【応募作品のテーマ比率】



【作品の商品化について】



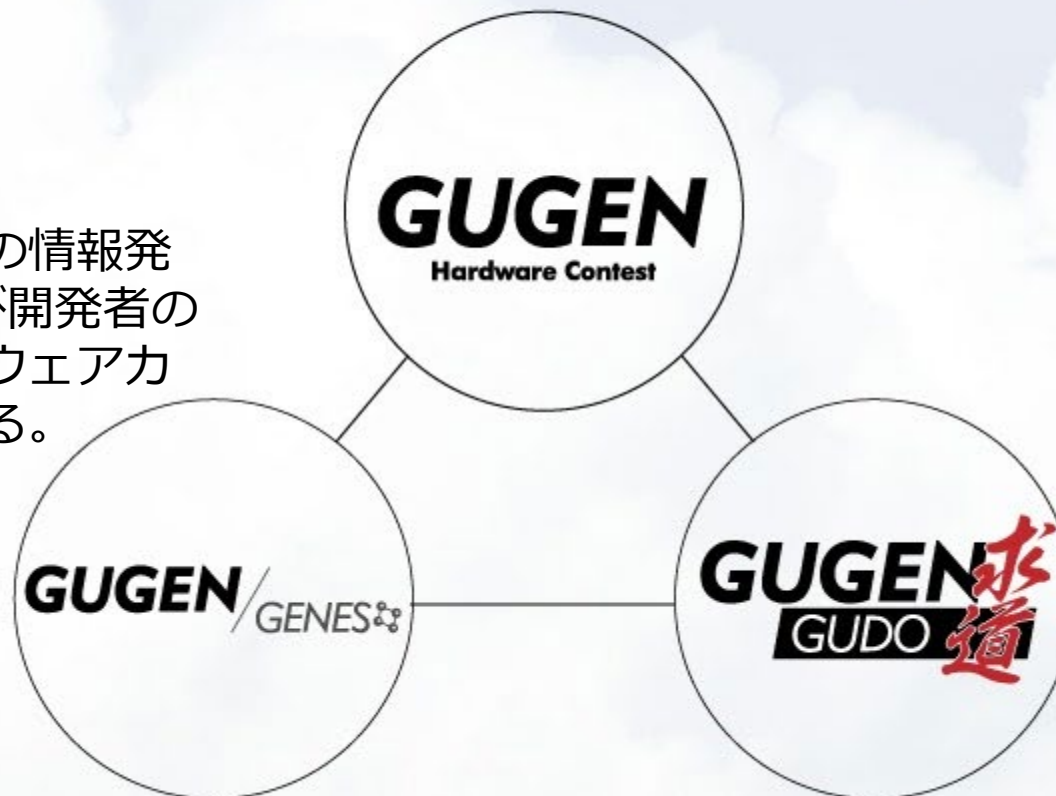
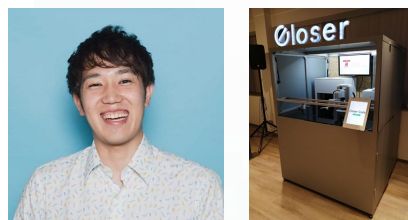
応募作品のテーマ比率を見た時、「ホビー・エンタメ」「教育・学習」をテーマとした作品が昨年と同様に上位。外出する機会が減ったため、自宅での過ごし方を模索した結果だと推測する。また、作品の商品化について「強く希望する」と答えた応募者が前年の28.2%に比べて大幅に向上した。今回初めての企画である「CAMPFIRE」との連携に関しては14作品が「登録希望」、内2件が実際にCAMPFIREへ登録完了。

**GUGEN2022**  
**企画内容案**



作品展示会および選考会を実施。  
ニューノーマルに対応したハードウェアコンテストとして開催する。

SNSなどで応募作品の情報発信し、GUGENおよび開発者の認知を広げ、ハードウェアカルチャーを盛り上げる。



P板.com EMSと連携し、GUGEN応募作品の製品化のサポートを行い、作品の具現化を目指す。



給電不要で足で操作できる自転車用ウインター  
※本製品の開発は、GUGEN2022の応募作品です。

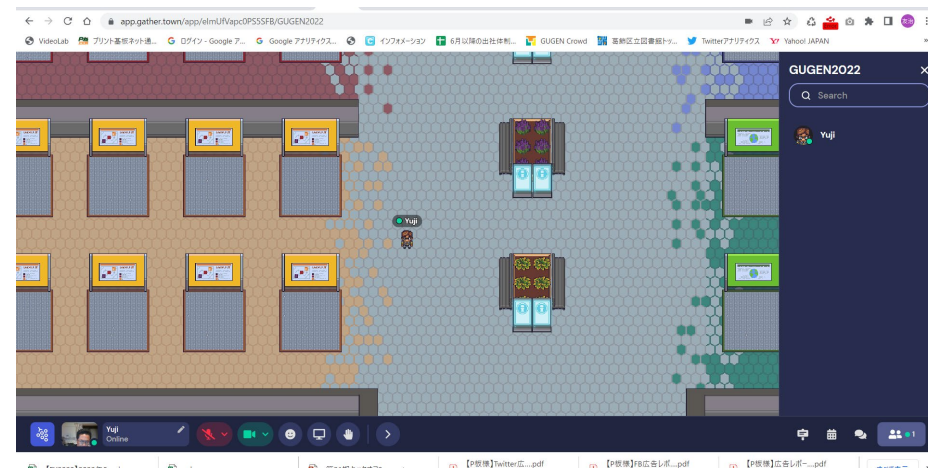
## GUGENコンテスト開催概要案

Webサイト上にて作品エントリー。GUGEN実行委員にて一次通過作品を選考する。  
選考された作品・チームは「展示会・授賞式」へ参加いただく  
「選考会・授賞式」当日は審査員および当日来場者の投票により受賞作品を決定する。

- 12月17日（土）会場を手配して、リアルでの開催
- オンライン（メタバース）での同時開催も検討

# 事前登録

- 定員200名～
- 当日の様子などはzoomでライブ配信  
→ メタバーズ検討中

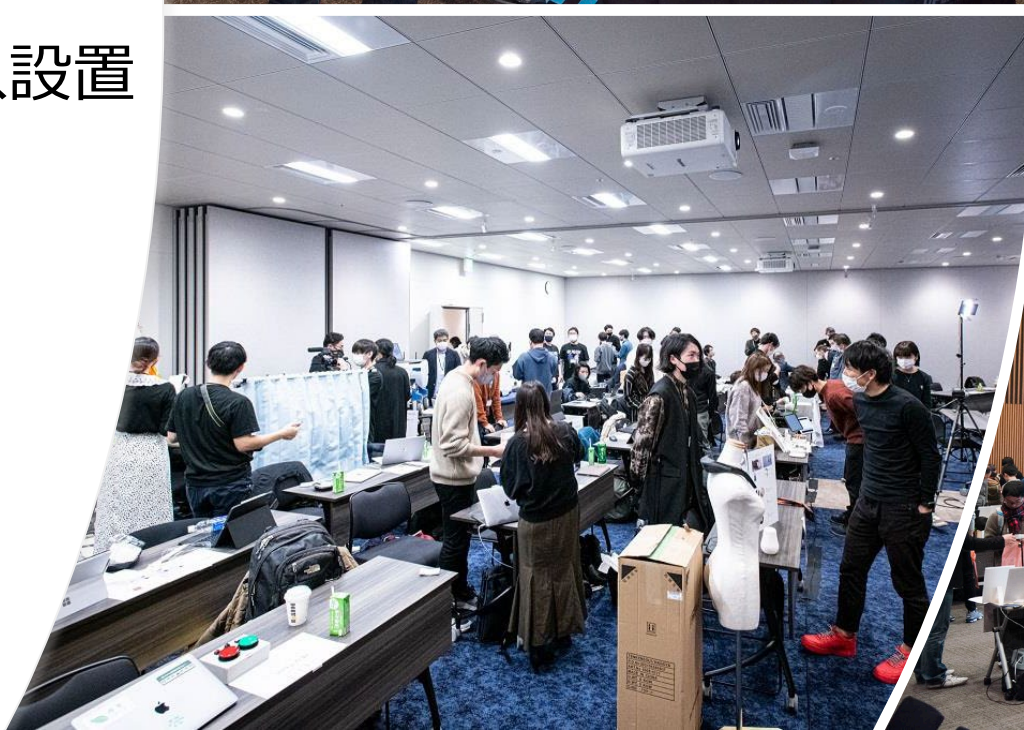


イベントは終了です  
【参加無料】あなたが決める！ハードウェアコンテスト  
GUGEN2017展示会・授賞式

詳細  
日本最大級ハードウェアコンテスト「GUGEN」の展示会・授賞式を、12/16(土)「秋葉」  
2017/12/16(土)  
13:00 - 18:30 JST

# GUGEN展示会・授賞式

- 30～50作品程度展示  
(会場規模に応じて)
- スポンサーブース設置

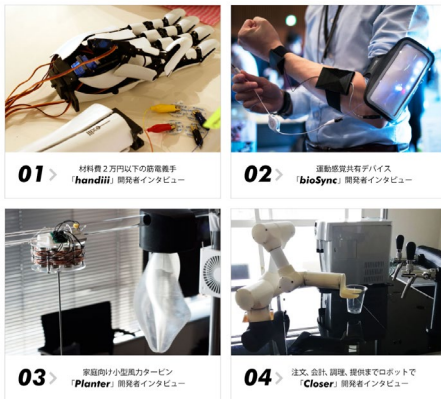


- 大賞（1チーム）100万円相当
  - 現金50万円+プリント基板製造費50万円分
- 優秀賞（2チーム）20万円相当
  - 現金10万円+プリント基板製造費10万円分
- Goodアイデア賞（1チーム）10万円相当
  - 現金5万円+プリント基板製造費5万円分
- 各スポンサー賞

## GUGEN / GENES

GUGENのGENES(遺伝子)を世の中に輩出し、ハードウェアのカルチャーを世の中に広める。

### INTERVIEW



### 作品インタビューなど

応募いただいた作品チームをピックアップし、インタビューを実施。インタビュー記事はGUGENウェブサイトへ掲載すると同時にSNSで拡散。GUGENと応募作品の認知度向上を図るとともに、モノづくりに興味を持つ層の拡大へつなげる



### クラウドファンディング挑戦作品のピックアップ

クラウドファンディングや製品化に向けて具体的に動いているチームをピックアップしてGUGEN内で紹介します。また、クラウドファンディングサイトなどと連携して作品のPRを行っていきます。



## 作品の具現化に向けあらゆる方面からサポートします。

GUDO（求道）とは真理を追い求めて修行を行うこと。GUGENでの受賞者に対して資金面での支援やP板.comのEMSを中心とした製造や量産に関するメンタリングを行う。コンテストだけに終わらず作品の具現化（製品化）までのサポートを行います。製品化できそうなアイデアはスポンサー企業との協業で製品化することも可能です。



9月

作品募集開始

作品応募ページリリース  
作品募集開始

- ・メルマガ配信
- ・SNS、プレスリリース  
による告知

11月

作品募集締切

11月中旬：募集締切

11月下旬：1次選考作品決定

12月

選考会・授賞式

展示会実施

- ・1次選考作品展示  
(30～50作品)
- ・大賞作品を選出



**GUGEN2022**  
**協賛のご案内**

GUGENコンテストは国内最大級のハードウェアコンテストです。モノづくりに携わる多くの方が一堂に会する場となります。

GUGENにご協賛をいただくことで、モノづくりに関わる方々に向けて様々なアプローチが可能となります。

## GUGENに協賛する3つのメリット

1. **ブランドイメージ向上**
2. **メーカーへの情報発信**
3. **人材・製品発掘**

# ブランドイメージ向上

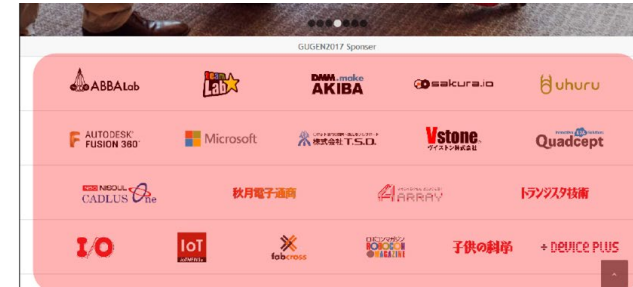
# GUGEN

貴社のブランドイメージ向上に貢献いたします。

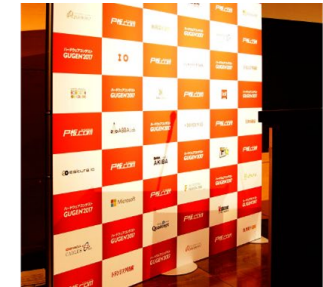
○ロゴ掲載

○サイドバナー掲載

○スポンサー賞の設置



ロゴ掲載



サイドバナー掲載



スポンサー賞の設置

# メーカーへの情報発信

# GUGEN

各業界のメーカーやモノづくりに興味がある方々に向けて、貴社のサービスや製品の情報を発信にご協力いたします。

○メルマガ送付権

○資料配布

○プレゼンテーション



メルマガ配信



資料配布



プレゼンテーション

GUGENは、優秀な人材・製品発掘の場としてもご利用可能です。新しいヒト・モノ・コトの発掘をご支援させていただきます。

○会場で出展者との交流



# 協賛メニュー表

# GUGEN

特典	プラン	プラチナ	ゴールド	シルバー
	費用	50万円	25万円	10万円
ロゴ掲載		○	○	○
サイドバナー掲載 (※1)		○	○	×
スポンサー賞の設置 (※2)		○	○	○
メルマガ送付権 (※3)		○	△	×
ブース設置 (※4)		○	△	×
プレゼンテーション (※5)		○	×	×
CM動画配信 (※6)		○	×	×

※1 : プラチナスポンサーはGUGENと@ele、ゴールドスポンサーはGUGENにサイドバナーを掲載いたします。

※2 : プラチナスポンサー、ゴールドスポンサーはスポンサー賞の審査基準掲載が可能となります。

※3 : プラチナスポンサーは3回、ゴールドスポンサーは1回、GUGENメルマガ会員全員にメルマガ配信いたします。

※4 : 展示会場内に設置いたします。

※5 : メインステージでの10分間プレゼンテーション

※6 : 会社紹介動画などを幕間に配信いたします。

# GUGEN2021のスポンサー実績

# GUGEN



WINDGRAPHY  
Designed by KOA in NAGANO



Vstone®  
ヴァイストーン株式会社



Innovative EDA Solutions  
Quadcept



SWITCH  
SCIENCE



fabcross  
powered by MEITEC

これまでのスポンサー実績：

株式会社ABBA Lab、リクルートキャリアフル、株式会社DMM.com、fabcross、SWITCHSCIENCE、コクヨ株式会社、株式会社ネットメカニズム、株式会社マクニカ、リクルートMakers Hub、株式会社ワコム、秋月電子通商、ヴァイストーン株式会社、オムロンスイッチアンドデバイス株式会社、株式会社カヤック、Quadcept株式会社、株式会社KORG、東芝デバイス&ストレージ株式会社、トランジスタ技術、株式会社T.S.D、株式会社トヨタIT開発センター、AgIC株式会社、白光株式会社、nulab、ユカイ工学株式会社、株式会社マイナビ、MONOist、ロボコンマガジン、コワーキングスペースMONO、大阪イノベーションハブ、福岡市、横浜市、イノラボ、富久無線電機株式会社、mixi、DFG、日経エレクトロニクス、NXPセミコンダクターズ、アイティメディア株式会社、株式会社アリス、モクロック、サンハヤト株式会社、チームラボ株式会社、株式会社ニューズベース、ペリテック、マルツエレクトロニクス株式会社、リクルートメディアテクノロジーラボ、リプロ電子株式会社、ルネサスエレクトロニクス株式会社、ソニー株式会社、株式会社ニソール、株式会社ウフル、ローム株式会社、イノテック株式会社、株式会社ジェイテクト、HAX Tokyo、株式会社CAMPFIRE、FUSION 360、LINE株式会社、アナログデバイスズ株式会社 他

○ GUGEN HP : <https://gugen.jp/>

○ メールアドレス : [info@gugen.jp](mailto:info@gugen.jp)

○ 電話番号 : 03-3261-3431

○ GUGEN実行委員会 担当 : 赤木/後藤

※お問い合わせは、上記連絡先までご連絡ください。